

日本第四紀学会シンポジウム

考古遺跡から何が分かるか

Geoarchaeology

日時：2008年2月2日（土）13：30～17：10

場所：東京大学法文2号館1番大教室
（本郷キャンパス）

☆参加費無料・事前登録不要

プログラム：

Figure 7-11. Deformation of mid-Pleistocene strata at the Acheulian sites Torralba

13：30～13：50 地考古学が考古学に果たす役割 (佐藤宏之)

13：50～14：20 大阪府河内平野における地形形成と土地利用の関係

—池島・福万寺遺跡の検討— (井上智博)

14：20～14：50 武蔵野台地における旧石器時代遺跡の形成過程

—下原・富士見町遺跡を中心に—

(野口 淳・安蒜政雄・明治大学校地内遺跡調査団)

14：50～15：00 休憩

15：00～15：30 北海道上幌内モイ遺跡旧石器地点の自然形成過程 (出穂雅実)

15：30～16：00 北海道上幌内モイ遺跡旧石器地点の文化形成過程 (中沢祐一)

16：00～16：15 地考古学実践の課題について—火山灰編年学の立場から—

(早田 勉)

16：15～16：30 第四紀学からのコメント

(町田 洋)

16：30～17：10 総合討論

世話人：佐藤宏之（東京大学）・出穂雅実（札幌市埋蔵文化財センター）

問い合わせ先：佐藤宏之 東京大学大学院人文社会系研究科

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL・FAX:03-5841-3793・3795